

三重大学「イノベータ養成のためのサンドイッチ教育」シンポジウム



イノベーション創出のための

バイオ系若手人材に必要な経験とは？

『イノベータ養成のためのサンドイッチ教育』の特徴的な取組みの一つとして、海外インターンシップ研修があります。調査研修を通じて、海外ビジネスの実践能力を養うことを目的としています。

『内向き志向』と言われる昨今、海外経験をどう活かすことができるのかを再考する機会として、13年間の海外経験を持つ先生にご講演をいただきます。また、日々最新のバイオ情勢に触れている先生から、バイオ分野の情勢についてご講演いただきます。皆さま、奮ってご参加ください。

《ご挨拶》 14:00～ 内田 淳正 氏 (三重大学 学長)

《事業説明》14:05～ 西村 訓弘 氏 (三重大学社会連携研究センター地域イノベータ養成室 室長、学長補佐)

《第一部》14:15～

海外留学する意味・体験談

島岡 要 先生

(三重大学大学院医学系研究科 分子病態学 教授)

—ご略歴—

大阪大学卒業後10年余り麻酔・集中治療部医師として敗血症の治療に従事。Harvard大学への留学を期に、非常に迷った末に臨床医より研究者に転身。13年間の海外経験を経て、2011年7月より現職。

専門は細胞接着と炎症。

《第二部》15:05～

最新のバイオ情勢紹介 ゲノム原理主義 vs フェノタイプ至上主義

宮田 満 先生

(株式会社 日経 BP 医療局主任編集委員)

—ご略歴—

1979年、日本経済新聞社に入社。日経BP社・日経メディカル編集部を経て、81年、日経バイオテク創刊に携わる。85年、日経バイオテク編集長に就任。

慶応義塾大学先端生命科学研究所客員教授、三重大学大学院地域イノベーション学研究科客員教授を務める。

《第三部》16:00～

パネルディスカッション

○モデレータ

一般社団法人 健康科学リソースセンター 理事長

松尾 雄志 先生

○パネラー

株式会社 日経 BP 医療局主任編集委員

宮田 満 先生

辻製油株式会社 代表取締役社長

辻 保彦 先生

株式会社 KRI センシングバイオ研究室 室長

市村 直也 先生

京都大学大学院医学研究科 教授

齋藤 邦明 先生

三重大学大学院医学系研究科 研究科長・教授

登 勉 先生

三重大学大学院医学系研究科 教授

島岡 要 先生

日時

平成24年3月8日(木) 14:00～17:30 (受付; 13:30～)
交流会; 18:00～19:30

会場

三医会ホール (三重大学医学部附属病院 新病院内)

参加費無料

交流会; 医学部付属病院新病棟内レストラン/有料

申込方法

所属・氏名・メールアドレスを innovator-info@crc.mie-u.ac.jp までご連絡ください

お問合せ

三重大学社会連携研究センター

地域イノベータ養成室

innovator-info@crc.mie-u.ac.jp

TEL&FAX ; 059-231-9784

三重大学は、平成 22 年度より文部科学省 ポストドクター・インターンシップ推進事業（旧 イノベーション創出若手研究人材養成事業）に採択されております。本事業は地域企業と連携して行う実践的な取組みを長期インターンシップ研修（実社会プロジェクト）として活用し、地域産業界の中核となりうるプロジェクト・マネジメントができる博士人材の養成を目指しています。

会場アクセス



■津駅から

- 1) 津駅前バスのりば「4 番」から三交バスで、「白塚駅前」(06 系統)、「太陽の街」(40 系統)、「三重病院」(51 系統)、「棕本(むくもと)」(52 系統)、「サイエンスシティ」(52 系統)、「豊里ネオポリス」(52 系統)、「三行(みゆき)」(53 系統)行きで、「大学病院前」下車
- 2) 津駅からタクシーで約 10 分

■近鉄江戸橋駅から

徒歩で約 15 分

※駐車スペースに限りがございますので、公共交通機関をご利用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

参加申込方法

以下に必要事項を記入して、FAX (059-231-9784) あるいはメール (innovator-info@crc.mie-u.ac.jp) にて、地域イノベータ養成室までお申込みください。

申込締切；平成 24 年 1 月 12 日（木）

氏名

所属

役職

電話

メール

氏名

所属

役職

電話

メール

059-231-9784